

『VカラーPro』と『グランカラー』が パッケージ印刷を変える

株式会社 プロスパーククリエイティブ

印刷検査や印刷絵柄色評価システム開発の株式会社 プロスパーククリエイティブ（東京都中央区、代表取締役 川端秀樹）は、印刷物の色を高色域のモニタ上に忠実に再現する独自の『VカラーPro』を世界で初めて開発し、TOKYO PACK 2022展より、全国の有力機材代理店を通じて、主に印刷業界、パッケージ業界、ラベル・シール業界に販売を行っていきます。

これまで、モニタのRGB透過色と、印刷物のCMYK反射色の異なる色再現領域での比較色調整は、プロファイルで調整しても同じ色に見えにくいものでした。『VカラーPro』は、独自の色調整技術により、目で比較しても見分けがつかないほどの高精度で、自動及び手動色調整を可能にしました。また、『VカラーPro』のモニタは、キャリブレーションモニタだけでなく、4K8Kの高色域モニタでも高精度で色再現します。

『VカラーPro』は、専用ソフトと広色域モニタを使って、プルーフや印刷物をスキャナ入力し、その画像を遠隔地のモニタに忠実に色再現します。併せて色直し再校や印刷用色見本のプルーフ出力の削減と時間の短縮により、大幅なコストダウンを実現するものです。当社試算では、『VカラーPro』は、初年度の削減額だけでも投資額を上まわることから、多くの印刷会社での導入を見込んでいます。さらに『VカラーPro』は、ネット運用やプルーフ出力回数の低減で、SDGs対応を推進するものとなります。

『VカラーPro』は、営業所と本社・印刷工場などの多拠点で活用するために、基本システムと、複数拠点での運用内容により、機能限定システムも用意しています。また、カメラ入力による光沢箔や、ボトルや箱などの立体物パッケージでの比較色調整機能版も予定しています。

TOKYO PACK2022展では、印刷物の色再現をモニタで実現した『VカラーPro』と、印刷物の絵柄の色を1ピクセル単位でL*a*b*数値色評価することが出来る『グランカラー』も併せて出展し、セミナーで2つのシステムを発表します。



『Vカラーpro』システム 画面イメージ